



国際交流ひろば

2024

冬号

KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWS

VOL. 271/2025

鹿児島県 国際交流協会 からのお知らせ

語学ボランティア・

ホストファミリーボランティアを紹介します！

当協会には様々な言語の語学ボランティアや、外国人を受け入れるホストファミリーボランティアが登録しています。

国際交流を目的としたイベント等での通訳や簡単な文書の翻訳、ホームステイ受入などの依頼が可能です。ご希望の方はご相談ください。

(※紹介先は、公的団体及び地方公共団体・NPO 法人等で、国際交流に関する内容に限られます)

(語学ボランティア)

(ホストファミリーボランティア)

詳細は
こちら



第 32 回 (令和 7 年) 鹿児島県青少年国際協力体験事業

Study tour in ベトナム

2025. 7. 20 (日) ~ 27日 (日)

詳細は
こちら



参加資格

- 県内の中学・高校に在学中であること
- 国際協力に興味があること
- 参加にあたり、保護者、学校長の承諾があること
- 本事業への参加経験がないこと
- 全ての日程に参加可能であること (事前研修・報告会含む)

参加費用

1人当たり **25 万円程度**

※ただし、共催市町村・協賛企業から半額程度の助成があります。

募集締切

申込先によって異なります。
詳しくは、HP またはチラシをご確認ください。

※上記派遣日程以外にも参加必須の日程があります。また、申込先等については、各市町村や実行委員会によって異なります。
詳細を必ずご確認ください。

問い合わせ

《実行委員会事務局》
TEL 099-221-6620

KIA イベント レポート

災害時に助け合えるまちづくり事業 in 出水市 (12/8 実施)



12/8に、出水市との共催で地域在住の日本人及び外国人を対象とした防災講座及びワークショップを開催しました。

講座では、日本人向けに外国人へのやさしい日本語講座を、在住外国人向けに鹿児島の災害や防災対策について学ぶ基礎講座を実施しました。

また外国人と日本人合同のワークショップ講座では、防災マップづくりやハザードマップを見ながら居住地域の危険個所や避難場所・避難経路を確認、そして、救急救命講習として AED の使い方について学びました。

参加者からは、「一人ひとりが安心して暮らせるまちをつくるために、まずは身近な人達との交流を大切にしたいと思った。」などの感想がありました。

「Kagoshima で暮らして」



鹿児島県の在住外国人の数は、年々増加傾向にあります。『国際交流ひろば』では、鹿児島で頑張る在住外国人の鹿児島での暮らし等についてご紹介しています。今回は、鹿児島市内の企業に勤務しているインドネシアご出身のムハマド アリフ ヌール ラマダンさんをご紹介します。

アリフさんの出身地について教えてください。

—私は、インドネシア西ジャワ州のデポック市の出身です。首都のジャカルタの近くで人口 200 万人程の都市です。発展している一方で、田んぼや畑も残っています。日本で言うと東京都の隣にある埼玉県みたいな感じですね。



ムハマド アリフ ヌール ラマダン さん

インドネシアは島ごとに言葉が違うとよく聞きますが…?

—島ごとではなくて、地域ごとに違います。例えば、公用語はインドネシア語ですが、ジャワ島だけでも、ジャカルタにはバタウィ語、デポックがある西ジャワにはスダ語、中央ジャワではジャワ語が話されています。家では、インドネシア語で話しますが、祖父母はジャワ語を話します。学校では、スダ語、ジャワ語、インドネシア語などが飛び交っています。

いつから日本語を学び始めたんですか?

—日本語をきちんと学び始めたのは大学からです。幼い時にテレビで「ナルト」などの日本のアニメを見て、興味は持っていましたが、きちんと勉強したことはありませんでした。大学も理系の学部に進学する予定でしたが、入試際に「やっぱり日本語を勉強したい!」と思い、急遽進路変更をしました。それまで両親の意向に沿ってきましたが、「大学は自分で決めたい!」と思ったんです。両親は怒っていましたが、自分の気持ちを打ち明けたら「頑張りなさい」と言ってくれました。

進路変更後、なんとか日本語学科のある大学に合格できましたが、大変なのはそこからでした。同級生は、ひらがなカタカナの読み書きができるだけでなく、すでに日本語の弁論大会に出ている人もいました。でも、私はひらがなもカタカナも全く読めなくて、自分だけができないことがとてもつらくて、悔しくて、最初の 2~3 ヶ月は寝る間も惜しんで勉強していました。本当に地獄でしたね(笑)

大変な努力だったんですね!その後鹿児島大学に留学したんですか?

—はい。日本の文部科学省のプログラムに合格して留学しました。日本全国の大学から選択できたんですが、最終的に鹿児島大学に決めました。日本語しか通じなくて、日本の昔ながらの文化を体験できるような地域が良かったのと、鹿児島は、海も山も近くて、僕の大学のあるスマラン市に似ていると思ったんです。それに気候的にも暖かいです。僕は寒いのが苦手なんです。

どういった経緯で鹿児島で働くようになったんですか?

—大学卒業後、インドネシアで就職したんですが、留学時代のアルバイト先の上司が働かないかと声をかけてくれたので、鹿児島に戻ってきました。

都会で働く選択肢もあったと思いますが、なぜ鹿児島に?

—鹿児島は私にとって第二の故郷のようなところなので、鹿児島が良かったんです。地元の方は優しいですし、気軽に話しかけてくれるところがインドネシア人に似ています。以前、私が桜島の写真を撮っていたら、通りかかったおじさんが「桜島撮るならこっちのほうが良く撮れるよ」と話しかけてくれたり、一番印象に残っているのが、僕がバスの時刻

と方面が全然分からなかった時に、見知らぬおばあさんが「どこから来たの?どんな国なの?」と声をかけてくれて、さらにバスの案内までしてくれました。すごく嬉しかったですね。

アリフさんの仕事について教えてください。

—監理団体で、主に通訳として働いています。鹿児島県内だけでなく、県外への出張もあり、色々な場所に行けるのは楽しいですし、何より会社側と労働者側からの言葉をきちんと伝え、お互いに理解し合えた時が一番やりがいを感じます。

アリフさんはイスラム教徒だと思いますが、鹿児島で生活する上で苦労はありますか?

—イスラム教では、1 日 5 回のお祈りや、豚肉やお酒を口にしない等の決まりがあります。イスラム教徒が食べられるものを「ハラル」と言いますが、そのハラルのものを鹿児島で見つけるのが大変ですね。例えば、豚肉のエキスが入っていたり、豚由来のゼラチンも食べられません。食品の成分表を確認しながら買い物をするので、鹿児島に来た当初はすごく時間がかかりました。

でも、私の周りの鹿児島の人はそのことも理解してくれて、同僚と一緒に外食するときは豚肉が入っていないか確認してくれますし、飲み会でも、お酒を無理に飲まされることはありません。

そして、イスラム教では、金曜日のお昼の礼拝がとても重要なんですが、会社に相談したらその時間にモスクに行くことを認めてもらいました。ですので、宗教上の問題で困ることはそれほど多くないと思います。

休日はどんな風に過ごすんですか?

—インドネシア人の友人と会ったり、日本の定番料理を作ったりします。僕の作る唐揚げは絶品ですよ! You tube で勉強して作ったら、友人達は「お店のようだ」と褒めてくれます!

それから、先日、運転免許を取得しました。今、色々なところに行く計画を立てています。とても楽しみです!



アリフさん自慢の唐揚げ

アリフさんは鹿児島での暮らしをとても楽しんでますね。外国人が鹿児島で心地よく暮らすための秘訣は何ですか?

—自分の国と同じように生活しようとするのが苦しいんです。絶対にできないですからね。僕は「日本人ならどうするか?」と考えています。例えば、市電に乗るときに「日本人ならどう並ぶのか?乗っている時はどんな風に過ごすのか?」と考えるんです。日本人の感覚を真似て生活すると暮らしやすくなる気がします。ただ、そこで自分のアイデンティティを失わないようにするのが大変です。インドネシア人は本来、大胆で率直なので、インドネシア人らしさを失わずに、日本人に受け入れられるように気をつけています。

将来の目標を教えてください。

—日本とインドネシアでは、仕事の仕方も考え方も全然違います。例えば、名刺交換の文化や相手への配慮もそれほどありません。でも、今そういった貴重な経験をしているので、いずれ帰国したときに、この経験を活かして、自分の会社を作り、インドネシアと日本を繋げられたら良いと考えています。



上海日本人学校虹橋(ホンチャオ)校 内野 裕太

【なぜ、在外教育施設へ?上海へ?】

私は令和 5 年度まで、種子島の西之表市榕城(ようじょう)小学校で勤務しておりました。教育現場での日々を通じて、日本人学校に強い関心を持つようになり、この春から縁あって上海の地で教鞭を執ることとなりました。新しい環境で子どもたちの学びを支える一方で、自分自身も成長し続けることを目指しています。



【上海の魅力】

上海の人口は約 2,400 万人で、中国の経済の中心地です。歴史的な西洋の建物と超高層ビルが同時に見られる独特の風景が魅力です。気候は温暖ですが、夏は暑く、冬は氷点下で底冷えする日もあります。上海はまた、外灘(わいたん)や豫園(よえん)などの観光スポットが豊富で、訪れる人々を魅了します。さらに、上海は多様な文化が融合する都市であり、国際的なイベントやフェスティバルが頻繁に開催され、常に活気に満ちています。

日本食レストランも多く、日本の味を楽しむことができます。さらに、ショッピングモールも充実しており、ユニクロや無印良品など、日本でお馴染みの衣料品店が入っているモールがあちらこちらにあります。

※2024 年 11 月 30 日より渡航ビザが不要となりました。

【上海日本人学校虹橋校(SJS)はどんな学校?】

SJS は全校児童生徒約 1,080 人で、校舎は東棟(5 階建て)、南北校舎(3階建て)に分かれており、冷暖房完備の二つの体育館や温水プールなどの設備が整っています。また、iPad の使用率は毎日ほぼ 100%で、Teams やロイロノートを使い情報活用能力の育成にも力を入れています。また、週に 1 回、中国人の先生に全学年が中国語を教わっており、中国の現地の小学校と年に 1 回交流会を行っています。さらに、中国文化(変面や太極拳など)に親しむことができる体験活動も年 1 回実施しています。



【上海のキャッシュレスサービス】

上海では、キャッシュレス決済が非常に普及しています。特に Alipay や WeChatPay といった QR コード決済が主流で、レストランやタクシー、公共料金の支払いなど、ほぼすべての場面で利用できます。さらに、リニアモーターカーなどの最先端技術が導入されており、大変便利です。



おしゃべりCAFE

鹿児島県国際交流協会働く外国人スタッフの日本語での楽しいおしゃべりをのぞいてみましょう!



テーマ: **お正月** 本日の参加者: 韓国 S さん ベトナム R さん 中国 L さん・Y さん 日本 M

M: 今回は皆さんの国のお正月について教えてください。

L: 中国のお正月は、「春節」といって、旧暦の 1 月が全部お正月です。大体旧暦の 12/30 頃から 1/7 頃までお休みになります。

S: 韓国のお正月は「ソルラル」といい、中国と同じように旧暦でお祝します。一般的に旧暦の 1/1 の前後 1 日ずつお休みになります。

R: ベトナムのお正月は「テト」といいます。旧暦でお祝いますが、大体旧暦 12/23 頃から 1/7 頃までですね。ベトナム人にとってテトは親の命日よりも大事な日なんですよ。

M: 日本ではお正月といったらおせち料理を食べますが、お正月ならではの食べ物がありますか?

R: ベトナムは「バインチュン」と「バインザイ」が欠かせない食べ物です。「バインチュン」は餅米・豚肉・緑豆でできた四角いちまきみたいなもので、「バインザイ」は丸い餅みたいなものです。ベトナムでは四角は「大地」、丸は「空」を連想させるものなので、それを作って先祖にお供えます。作るのがすごく大変で、「バインチュン」は茹でるだけでも 12 時間以上かかります。

L: 私の出身の中国南部ではワンタンです。

Y: 私は北部ですが、餃子が定番ですね。お正月には、1 元硬貨を餃子に包みます。100 個のうち 1 つだけ包んで、その 1 元硬貨に当たった人は、皆から 1000 元(約 2 万円)くらいのお年玉をもらえるんです。私の父は、お腹がすいているときに、餃子をどんどん食べていたら、たまたま 1 元硬貨が入っていて歯を折ってしまいました。

S: そのお年玉が歯の治療費になるね(笑)

韓国では、餅スープの「トックク」を食べます。細長い餅をス

ライスしてスープに入れるんですけど、この形がお金に似ているからとも言われています。

M: W さんからお年玉という言葉が出ましたが、みなさんの国にもお年玉があるんですか?

全員: ありますよ。

S: 韓国では「セペ」といって 1 回だけ深々とお辞儀をしてからお年玉をもらいます。絶対 1 回だけ! 2 回やったら大変です。2 回は亡くなった人に対してするお辞儀なんです。あとは、働き始めたら子どもから親や祖父母にお年玉をあげることもあります。

L: 中国では、必ず「紅包(ほんぱお)」という赤い封筒に入れて渡します。私のおばは遠方に住んでいて毎年帰省できないので WeChatPay でお年玉をくれますよ。

S・L・M: えー! お年玉を電子マネーで?!

R: ベトナムの場合は家族・親戚だけじゃなくて、会社の上司からもらうこともあります。

全員: いいなー!

M: お正月の思い出はありますか?

R: ベトナムは大体家で家族と過ごすので、外には本当に誰もいないし、お店も開いていません。だから、事情を知らない外国人は困るんですね。以前、困っていた日本人とたまたま出会ったので、我が家に招待して一緒にお正月を過ごしました。

L: 私の思い出は、幼い時に祖母や母と一緒にワンタンを作ったことですね。とても賑やかで楽しかったです。

S: 私も、家族や親戚みんなが集まって過ごしたのが一番楽しかったかな。

M: それぞれのお正月の過ごし方があって面白いですね。今回はこの辺で。また次号をお楽しみに!

「人生なんてきっかけひとつ」

あなたも JICA 海外協力隊として、世界に飛び出しませんか？

開発途上国を舞台に、現地の人々と共に生活し、同じ目線に立って、課題に取り組む海外ボランティア。JICA 海外協力隊は年 2 回の募集期があり、これまでに約 5 万人以上の方が派遣されてきました。鹿児島県からも 1000 名を超える JICA 海外協力隊が発発しており、世界も、日本も、鹿児島も元気にする存在として、帰国後の活躍にも期待が寄せられています。

「人生なんてきっかけひとつ」 まずは、お気軽にお問い合わせください！

《協力隊あれこれ！》


期間：原則 2 年間

応募資格：20 歳～69 歳


語学力目安：英検 3 級
/TOEIC330 点など

職種：190 種以上

※健康診断等必要書類あり



協力隊情報は
こちら！



個別相談は
こちら！



JICA デスク鹿児島 担当:飯屋 TEL:090-7167-4238 (公財)鹿児島県国際交流協会内




がいこくじん そうごう そうだん まどぐち
外国人総合相談窓口

かごしま さいかい せいりゆう かく ろうどう いりよう ふくし こま
鹿児島にお住まいの外国人の方のための相談窓口です。生活、在留資格、労働、医療、福祉などで困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。

たいおうげんご : にほんご えいご ちゅうごくご かんこくご
対応言語 : 日本語/英語/中国語/韓国語/ベトナム語/
タガログ語/インドネシア語/ネパール語/クメール語/タイ語/
ミャンマー語/ポルトガル語/スペイン語/マレー語/
フランス語/ロシア語/ドイツ語/イタリア語/モンゴル語/
シンハラ語/ヒンディー語/ベンガル語/ウクライナ語/
ウルドゥー語

かごしまけんこくさいこうりゅうきょうかい
鹿児島県国際交流協会内
TEL : 070-7662-4541
E-mail : kiasoudan@gmail.com




本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会
(火曜～日曜 9:00～17:00)
〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 カクイクス交流センター1階
(かごしま県民交流センター1階)
Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643
URL: <https://www.kiaweb.or.jp/>
Email: kia@kiaweb.or.jp
Facebook: <https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc>

「国際交流ひろば」は、ホームページにも掲載しています。ご自由にダウンロードしてください♪